

2009年4月17日

防衛大臣  
浜田 靖一 様

北海道平和運動フォーラム  
代表 箱山 富美子  
代表 江本 秀春  
代表 山田 剛

平和運動フォーラム石狩地域協議会  
代表幹事 佐藤 直己  
代表幹事 丸岡 久信

札幌平和運動フォーラム  
代表幹事 飯田 晃  
代表幹事 高桑 史嘉  
代表幹事 今 昭人  
代表幹事 長久保 清

## 千歳基地への米空軍戦闘機訓練移転に抗議し、その撤回を求める要請

2009年4月20日からの3日間、千歳基地において米空軍F A-18戦闘機訓練の実施が予定されている在日米軍再編に係る訓練移転計画に対して抗議します。

嘉手納基地訓練の一部移転・分散は、沖縄の負担軽減とされていますが、米軍再編による移転訓練の強行以降、沖縄嘉手納基地には国内外の米軍基地より飛来した戦闘機は従前の4倍以上に達し訓練が強化されています。今年3月には、米本国で墜落事故を起こしたF22戦闘機4機が嘉手納基地に駐留されるなど、嘉手納基地に配備されている戦闘機総数は増加しており、沖縄県民は騒音の激化や墜落への不安を抱えています。さらに千歳基地において移転訓練を強行することは、爆音・騒音被害や墜落事故やトラブルなどにより道民に計り知れない不安・被害を与えるとともに、生命を脅かすことになることから、直ちに中止すべきです。

軍事訓練移転の強行は、平和を求める多くの国民の願いを踏みにじるだけでなく、日本国憲法に反するものであり、断じて容認できるものではありません。また、日米新ガイドライン成立後、米海兵隊の矢臼別実弾砲撃移転訓練、道内民間港への度重なる米海軍艦船の強行入港など、米軍による北海道での訓練強化は、在日米軍基地の縮小・撤去を求める道民の願いに逆行するものです。

今年2月17日、中曽根外務大臣と来日したクリントン米国务大臣が、日米外相会談において署名した「在沖米海兵隊のグアム移転に係る協定」は、2006年5月の米軍再編実施のための日米ロードマップに基づく海兵隊のグアム移転、普天間飛行場の県内移設及び嘉手納飛行場より南の基地の返還などのパッケージ論を基本とし、辺野古への新基地建設、グアム移転費用の日本負担を打ち出すなど極めて問題のあるものです。さらに、グアム協定を批准しないよう求めた意見書が県議会で可決されるなど、この協定が在日米軍基地の縮小・撤去を求める沖縄県民の願いに逆行するものであり、直ちに破棄されるべきです。

私たちは、武力による国際紛争の解決を永久に放棄すると定めた日本国憲法を遵守し、平和な国際社会の実現に向け、全ての軍事基地の整理・縮小・廃止を進めていくことが重要と考えています。

以上のことから、貴職に対して下記の申し入れを行います。

- 1、千歳基地への米空軍戦闘機訓練移転の撤回をすること。また、4月20日から予定されている訓練を直ちに中止すること。
- 2、在日米軍基地の縮小・撤去を行うこと。
- 3、グアム協定を批准しないこと。

以 上